

平成21年度評価対象個別研究課題の評価結果一覧

事後評価対象課題	研究計画、実施方法、体制等の妥当性	目標達成度
地域被害推定と防災事業への活用に関する研究	1 ★★ 2 ★★★★★	1 ★★ 2 ★★★★★
研究期間 平成18年度～平成20年度	3	3
プロジェクトリーダー等 危機管理技術センター長 寺田秀樹	4	4
下水道管渠の適正な管理手法に関する研究	1 ★★★★★ 2 ★★★★★	1 ★★ 2 ★★★★★
研究期間 平成18年度～平成20年度	3	3
プロジェクトリーダー等 下水道研究部下水道研究室長 榑原隆	4	4
地域活動と協働する水循環健全化に関する研究	1 ★★ 2 ★★★★★	1 ★★ 2 ★★★★★
研究期間 平成18年度～平成20年度	3	3
プロジェクトリーダー等 環境研究部長 岸田弘之	4	4
災害時要援護者向け緊急情報発信マルチプラットフォームの開発	1 2 ★★★★★★★	1 2 ★★ 3 ★★★★★
研究期間 平成18年度～平成20年度	3	3
プロジェクトリーダー等 高度情報化研究センター情報研究官 末吉滋	4	4
地方都市再生に向けたLRT活用方策に関する研究	1 2 ★★★★★★★ 3 ★	1 2 ★★★★★ 3 ★★★★★
研究期間 平成18年度～平成20年度	4	4
プロジェクトリーダー等 都市研究部都市施設研究室長 西野仁		
建築基準の性能規定化の一層の推進のための建築材料等の性能表示・認証システムに関する研究	1 2 ★★★★★★★ 3 ★	1 2 ★★★★★ 3 ★★
研究期間 平成18年度～平成20年度	4	4
プロジェクトリーダー等 建築研究部長 西山功		
東アジア経済連携時代の国際物流ネットワークとインフラ整備政策に関する研究	1 ★★★★★ 2 ★★★★★	1 ★★ 2 ★★★★★
研究期間 平成17年度～平成20年度	3	3
プロジェクトリーダー等 港湾研究部長 高橋宏直	4	4

事前評価対象課題	実施の妥当性	一評価指標
美しいまちづくりに向けた公共事業の景観創出の効果分析に関する研究	○	<p>【事後評価】</p> <p>研究の実施方法、体勢等の妥当性</p> <p>1:適切であった 2:概ね適切であった 3:やや適切でなかった 4:適切でなかった</p> <p>目標達成度</p> <p>1:目標を十分達成できた 2:概ね目標を達成できた 3:あまり目標を達成できなかった 4:目標を達成できなかった</p> <p>-----</p> <p>【事前評価】</p> <p>実施の妥当性</p> <p>○:重点的に実施すべき △:一部検討を要するが実施すべき ×:実施すべきでない</p> <p>※事前評価では指標を用いないが、実施の妥当性について、総合評価結果の内容をよく表す評価指標を、事務局で設定した。</p>
研究期間 平成22年度～平成24年度		
プロジェクトリーダー等 環境研究部長 岸田弘之		
気候変動下での大規模水災害に対する施策群の設定・選択を支援する基盤技術の開発	○	
研究期間 平成22年度～平成25年度		
プロジェクトリーダー等 河川研究部流域管理研究官 藤田光一		
グリーンITSの研究開発	○	
研究期間 平成22年度～平成24年度		
プロジェクトリーダー等 高度情報化研究センター長 藤本聡		
3次元データを用いた設計、施工、維持管理の高度化に関する研究	○	
研究期間 平成22年度～平成24年度		
プロジェクトリーダー等 高度情報化研究センター長 藤本聡		
密集市街地における協調的建て替えルールの策定支援技術の開発	○	
研究期間 平成22年度～平成25年度		
プロジェクトリーダー等 都市研究部都市開発研究室主任研究官 勝又済		
住宅種別に応じたエネルギー消費性能評価法の開発	○	
研究期間 平成22年度～平成24年度		
プロジェクトリーダー等 住宅研究部長 大竹亮		
建築実務の円滑化に資する構造計算プログラムの技術基準に関する研究	○	
研究期間 平成22年度～平成25年度		
プロジェクトリーダー等 建築研究部長 西山功		
アジア国際フェリーの増大に対応した輸送円滑化方策に関する研究	○	
研究期間 平成22年度～平成25年度		
プロジェクトリーダー等 港湾研究部港湾新技術研究官 小泉哲也		
物流の効率性をと両立した国際輸送保安対策のあり方に関する研究	○	
研究期間 平成22年度～平成24年度		
プロジェクトリーダー等 管理調整部長 三上圭一		